

Jabber for Mac – クイックスタートガイド

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[ソフトウェア要件](#)

[ハードウェア要件](#)

[電話サービスの設定](#)

[Jabber Softphone](#)

[Jabberデスクフォン](#)

[デスクフォンの設定](#)

[CTI UCサービスの設定](#)

[ボイスメールの設定](#)

[Unity Connectionの設定](#)

[CUCM の設定](#)

[ディレクトリの設定](#)

[LDAPディレクトリサービス](#)

[UDSディレクトリサービス](#)

[CUCMエンドユーザの設定](#)

[サービスディスカバリ](#)

[Jabberのダウンロード](#)

[Jabberのインストール](#)

[Jabberへのログイン](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Jabber for Macの基本機能の導入に必要な手順について説明します。これはクイックスタートガイドであり、Cisco Jabber for Macでサポートされている高度な機能については説明しません。

前提条件

Cisco Unified Communications Manager(CUCM)の管理Webページと、基本的な電話設定の経験に関する基本的な知識があることが推奨されます。

ソフトウェア要件

このガイドでは、次のソフトウェアバージョンが使用されていることを前提としています。

- Cisco Unified Communications Manager(CUCM)バージョン10.5(2)以降
- Cisco Unified IM and Presence(IM&P)バージョン10.5(2)以降
- Cisco Unity Connection(CUXN)バージョン10.5以降
- Jabber for Mac 12.1以降

- macOS Mojave 10.14以降。
- macOS High Sierra 10.13以上
- macOS Sierra 10.12以降。
- OS X El Capitan 10.11以降

ハードウェア要件

次のハードウェア仕様は、Apple MacデバイスでCisco Jabber for Macを実行するための推奨最小要件です。

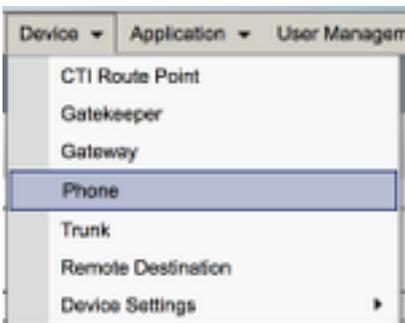
- CPU 次のいずれかのAppleハードウェア上のインテルCore2 Duo以降： Mac ProMacBook ProMacBookMacBook AiriMacMac Mini
- RAM 2 GB
- 空きディスク領域 300 MB

電話サービスの設定

Jabber Softphone

Jabber for Macには、Cisco Unified Client Services Framework(CSF)デバイスまたはソフトフォンを通じて電話サービスを提供するオプションが用意されています。

CSFデバイスを設定するには、CUCM Administration Webページにログインし、[Device] > [Phone]に移動します。



[電話の検索と一覧表示(Find and List Phones)]メニューから[新規追加(Add New)]を選択します。



[新しい電話の追加(Add a New Phone)]メニューにおいて、[電話タイプ(Phone Type)]ドロップダウンから[Cisco Unified Client Services Framework]デバイスタイプを検索します。選択したら、[次へ]をクリックします。

Add a New Phone

 Next

Status

 Status: Ready

Create a phone using the phone type or a phone template

Phone Type* Cisco Unified Client Services Framework

or

BAT Phone Template* -- Not Selected --

次の表 (表1.0) には、CUCMでCisco Unified Client Services Framework(CSF)デバイスを設定するときに設定する必要があるすべてのフィールドが含まれています。ほとんどの必須フィールドにはデフォルト設定が含まれており、導入に特に必要がない限り、手動で設定する必要はありません。次の表の「デフォルトで構成」列が「NO」に設定されているすべてのフィールドを手動で構成する必要があります。

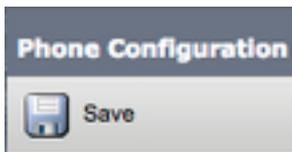
ヒント:シスコでは、すべてのClient Services Framework(CRF)デバイスにCSFのデバイス名プレフィックスを設定することを推奨しています。たとえば、Holly Dayという名前のユーザにCSFデバイスをプロビジョニングします。彼女のCUCMエンドユーザIDはhdayなので、彼女のCSFデバイス名はCSFHDAYになります。

表 1.0

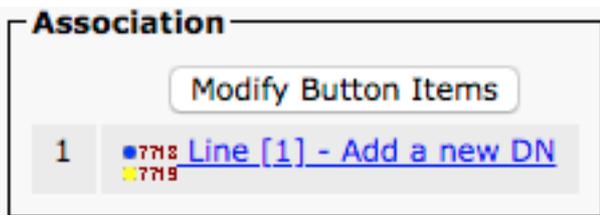
<p>必須フィールド</p> <p>Device Name</p> <p>Device Pool</p> <p>電話の押しボタンのテンプレート</p> <p>共通の電話プロファイル</p> <p>場所</p> <p>ビルトインブリッジ</p> <p>デバイス モビリティモード</p> <p>所有者ユーザID</p> <p>信頼できるリレーポイントの使用</p> <p>常にプライマリ回線を使用</p> <p>ボイスメッセージに常にプライム回線を使用する</p> <p>パケットキャプチャモード</p> <p>BLFプレゼンスグループ</p> <p>デバイスセキュリティプロファイル</p> <p>SIP プロファイル</p> <p>証明書の操作</p>	<p>デフォルトパラメータ</p> <p>デバイス名はCSFで始める必要があります。</p> <p>使用可能なデバイスプールのいずれかを選択する必要</p> <p>標準クライアントサービスフレームワーク</p> <p>標準共通電話プロファイル</p> <p>Hub_None</p> <p>デフォルト</p> <p>デフォルト</p> <p>ユーザIDの設定</p> <p>デフォルト</p> <p>デフォルト</p> <p>デフォルト</p> <p>なし</p> <p>標準プレゼンスグループ</p> <p>手動で選択する必要があります。</p> <p>手動で選択する必要があります。</p> <p>保留中の操作はありません</p>
---	---

DNDオプション	呼出音オフ
ビデオ通話	有効
電話制御で自動的に開始	Disabled
テザーデスク電話の自動制御	Disabled
拡張機能と接続機能	有効
連絡先の写真を表示	有効
ディレクトリの番号検索	有効
分析コレクション	Disabled

CSF構成の必須フィールドをすべて構成したら、[保存]ボタンを選択して構成を保存します。



CSFを作成したら、デバイスに電話番号を追加する必要があります。これを行うには、CSF構成の左上にある[Add a new DN]オプションを選択します。



注：このドキュメントでは、CSFデバイスの完全な回線設定については説明しません。回線設定は、すべての電話機に対して実行する必要がある標準設定であり、CSFデバイス固有の設定ではありません。

ヒント：電話番号を設定したら、CSFデバイスでCUCMエンドユーザを電話番号に関連付けます。これは、電話番号の設定の下部までスクロールし、[エンドユーザの関連付け (Associate End Users)]を選択することで行えます。この設定は、Jabber for phone presenceを使用する場合に必要です。

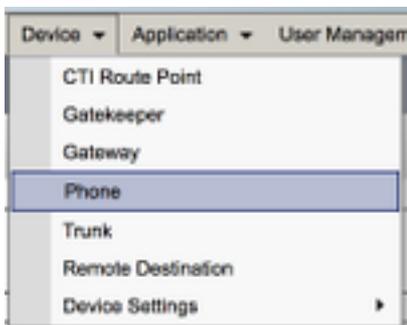
Jabberデスクファン

Jabber for Macには、シスコのデスクフォンでCisco Computer Telephony Integration(CTI)を実行する機能もあります。これにより、Jabber for Macユーザは、Jabberユーザインターフェイスからコールアクションを実行するときに、CiscoデスクフォンをJabberテレフォニーデバイスとして使用できます。

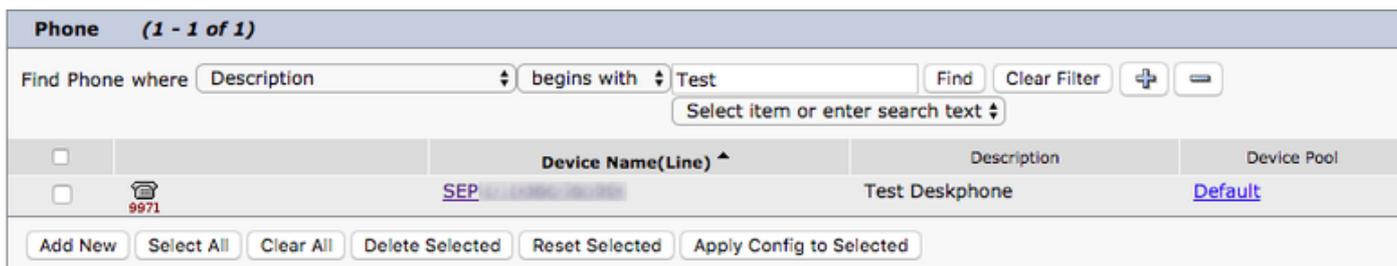
デスクフォンの設定

Jabber for Mac CTI統合を設定するには、次の簡単な手順に従います。

CUCM Administration Webページにログインし、[Device] > [Phone]の順に移動して開始します。



[電話の検索と一覧表示(Find and List Phones)]メニューで、Jabberユーザのデスクフォンを検索して選択します。

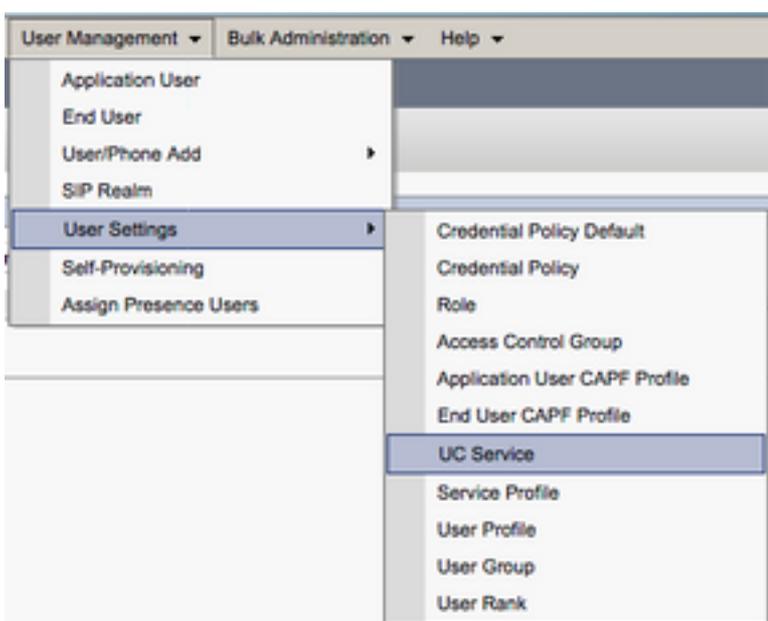


[電話の設定(Phone Configuration)]メニューが表示されたら、次の2つの設定を確認します。

1. [Allow Control of Device from CTI]チェックボックスがオンになっていることを確認します。
2. デバイスのオーナーユーザーIDがJabber for MacユーザーのCUCMユーザーIDに設定されていることを確認します。

CTI UCサービスの設定

次に、JabberクライアントがCUCM CTIManagerサービスに接続するために使用するCTI UCサービスを設定します。まず、[ユーザ管理(User Management)] > [ユーザ設定(User Settings)] > [UCサービス(UC Service)]に移動します。

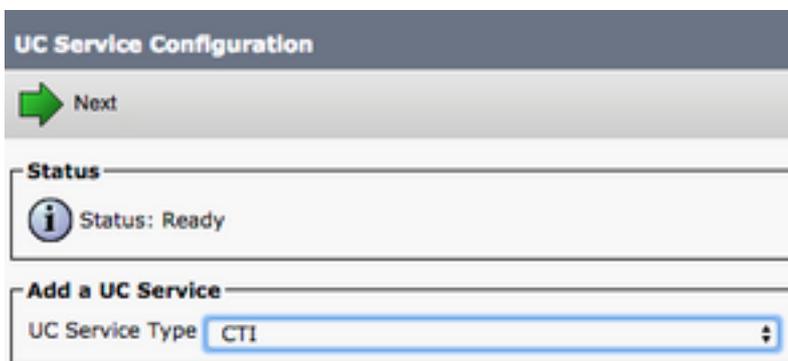


[UCサービスの検索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[新規追加(Add New)]を選択します。

Find and List UC Services

 Add New

[UC Service Configuration]ページが表示されたら、[UC Service Type]ドロップダウンから[CTI]を選択し、[Next]を選択します。



UC Service Configuration

 Next

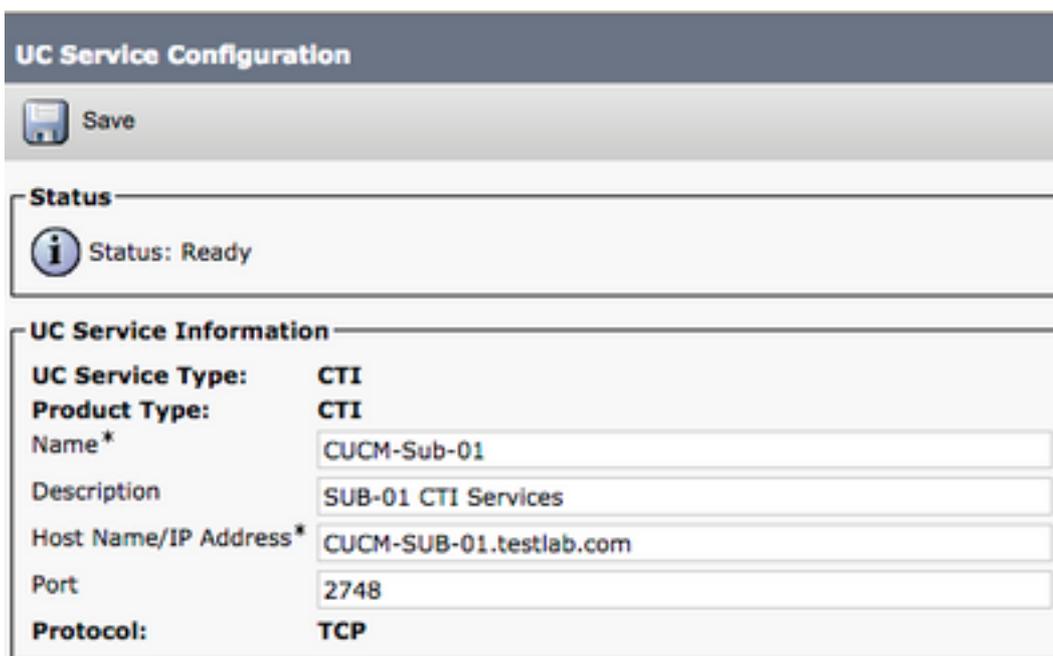
Status

 Status: Ready

Add a UC Service

UC Service Type

UCサービス構成ページが表示されます。ここでは、CTI UCサービスの名前を設定し、CTIサービスを実行しているCUCMサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定する必要があります。



UC Service Configuration

 Save

Status

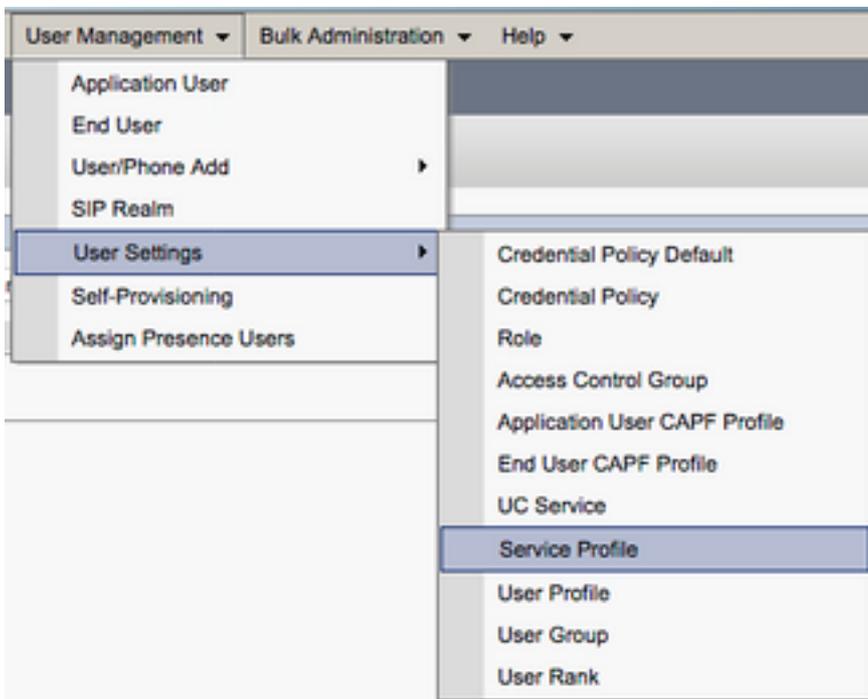
 Status: Ready

UC Service Information

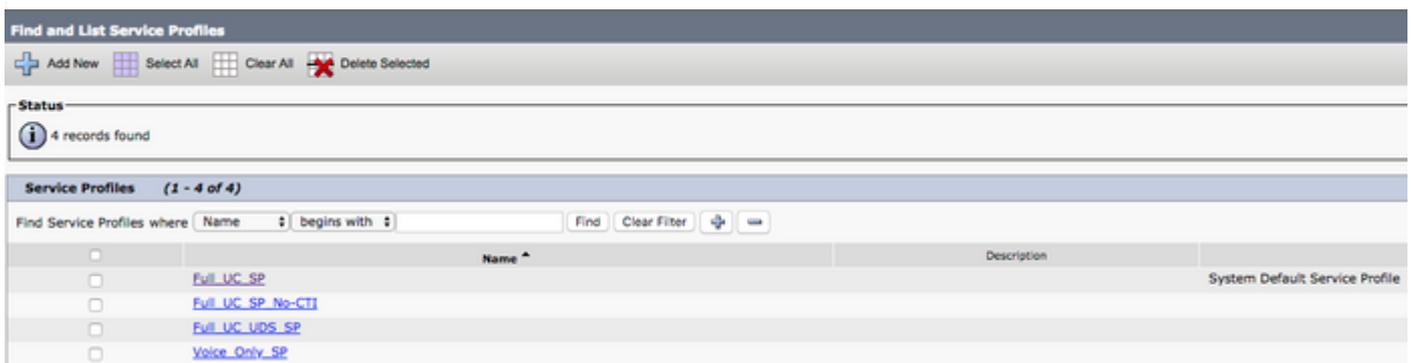
UC Service Type:	CTI
Product Type:	CTI
Name*	<input type="text" value="CUCM-Sub-01"/>
Description	<input type="text" value="SUB-01 CTI Services"/>
Host Name/IP Address*	<input type="text" value="CUCM-SUB-01.testlab.com"/>
Port	<input type="text" value="2748"/>
Protocol:	TCP

注:UCサービスプロファイルには、最大3つのCTI UCサービスを割り当てることができます。

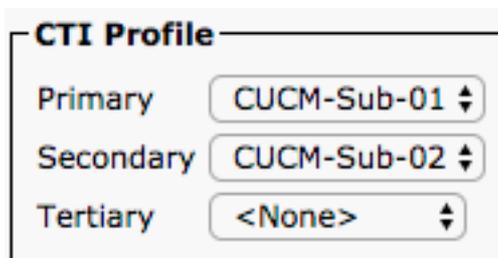
CTI UCサービスを定義したら、サービスプロファイルに割り当てます。まず、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Macユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[Service Profile Configuration]ページで、[CTI Profile]セクションまで下にスクロールし、サービスプロファイルにCTI UCサービスを割り当て、[Save]を選択します。



注:このドキュメントでは、基本的なCUCM管理タスクであるため、新しいCiscoデスクフォンの設定については説明しません。

(CTIをサポート デバイスを選択し、CUCM Cisco Unified Reportingに移動し、Unified CM電話機能リストレポート.次に、[CTI controlled]を選択します。機能 選択します。

ボイスメールの設定

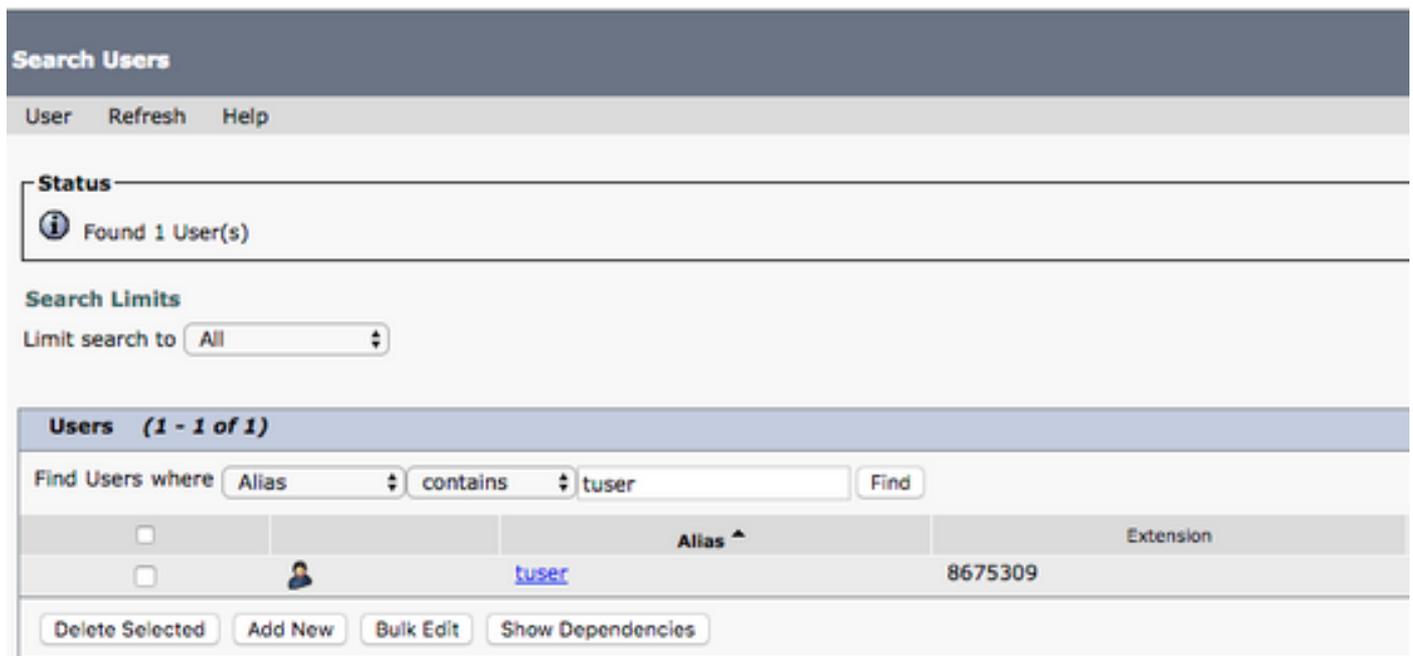
Jabber for Macは、Cisco Unity Connectionに保存されているボイスメールメッセージを取得および再生できます。Jabber for Macのボイスメールを設定するには、次の手順に従います。

Unity Connectionの設定

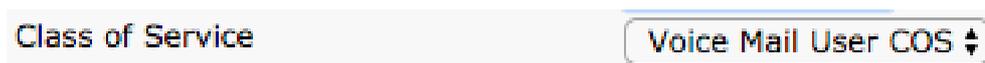
まず、Cisco Unity Connection Web管理Webページにログインし、[Users] > [Users]に移動します。



[Search Users]ページが表示されたら、Jabber for Macのユーザメールボックスを検索して選択します。



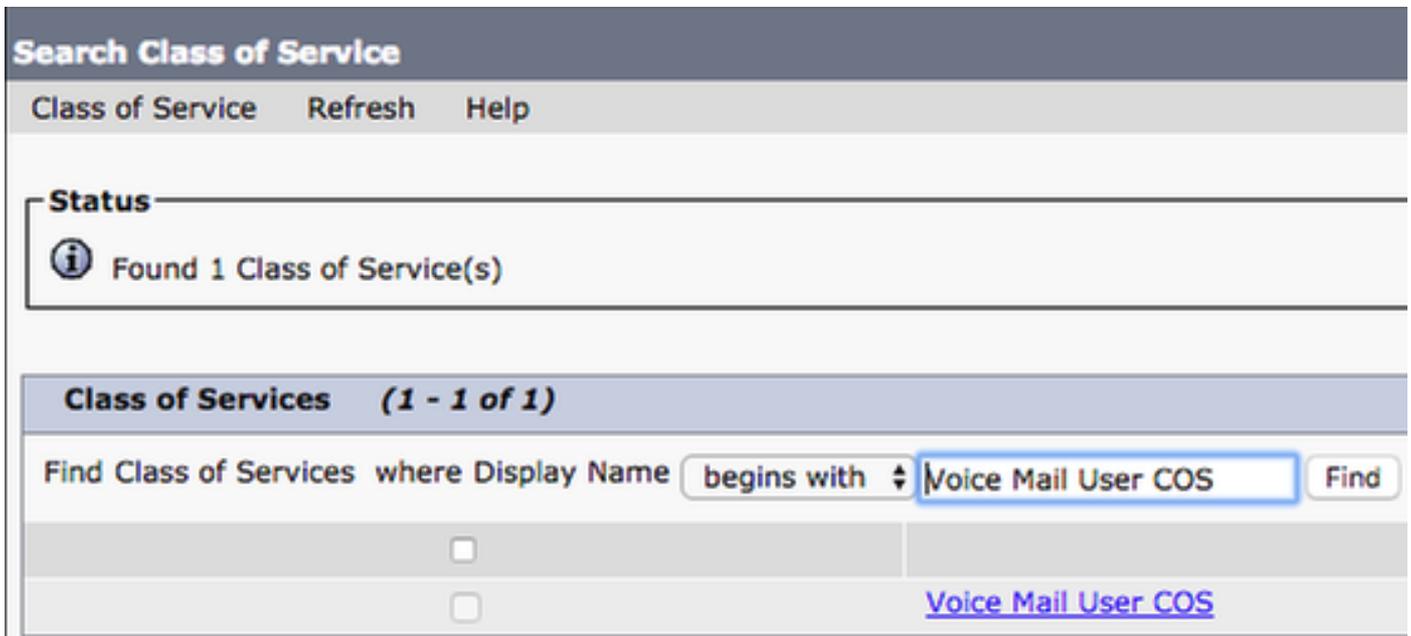
ユーザのメールボックスの[Edit User Basics]ページが表示されたら、設定されたCalls of Serviceを示します。



左側のナビゲーション・ペインで、[Class of Service] > [Class of Service]に移動します。



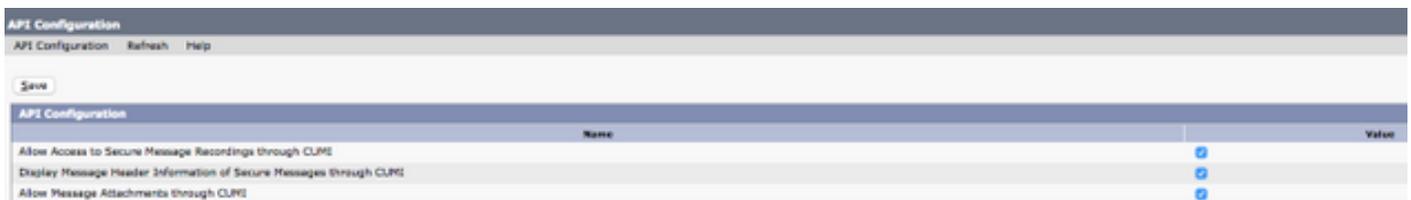
[Search Class of Service]ページが表示されれば、先ほど説明したサービスクラスを検索して選択します。



[Edit Class of Service]ページで、次の項目を確認します。

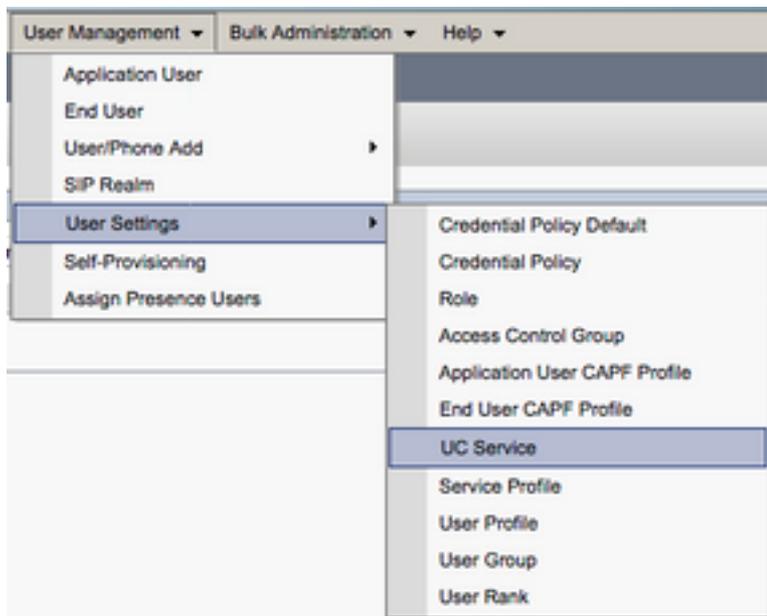
1. [ユーザーにWeb受信トレイとRSSフィードの使用を許可する]機能のチェックボックスがオンになっていることを確認します。
2. また、機能名の近くのボックスをオンにして、[Allow Users to Use Unified Client to Access Voicemail]機能が有効になっていることを確認します。

サービスクラスの設定が確認されたら、左側のナビゲーションペインで[System Settings] > [Advanced] > [API Settings]に移動します。API構成ページに表示される3つの設定をすべて有効にします。

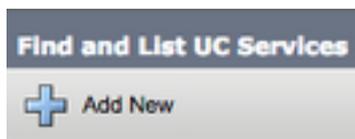


CUCM の設定

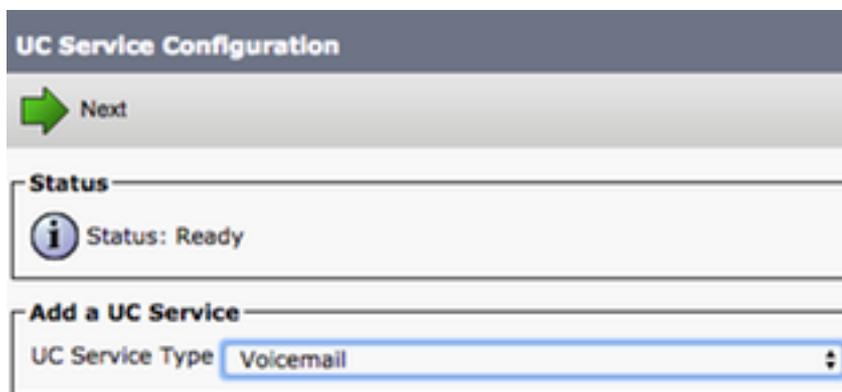
Unity Connectionがセットアップされたら、Jabber for MacボイスメールのCUCM設定に進みます。まず、[ユーザ管理(User Management)] > [ユーザ設定(User Settings)] > [UCサービス(UC Service)]に移動します。



[UCサービスの検索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[新規追加(Add New)]を選択します。



[UC Service Configuration]ページが表示されたら、[UC Service Type]ドロップダウンから[VoiceMail]を選択し、[Next]を選択します。



UCサービス構成ページが表示されます。最初に、[Product Type]ドロップダウンから[Unity Connection]を選択します。また、VoicemailUCServiceの名前を設定する必要があり、RESTおよびJettyservicesを実行しているUnity ConnectionサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定する必要があります。

UC Service Configuration

Save

Status

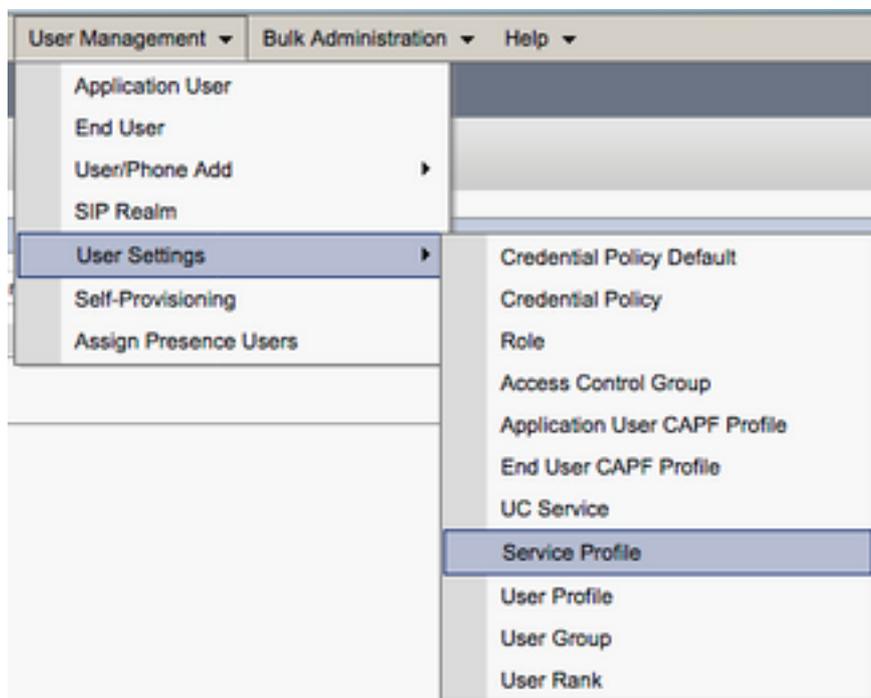
Status: Ready

UC Service Information

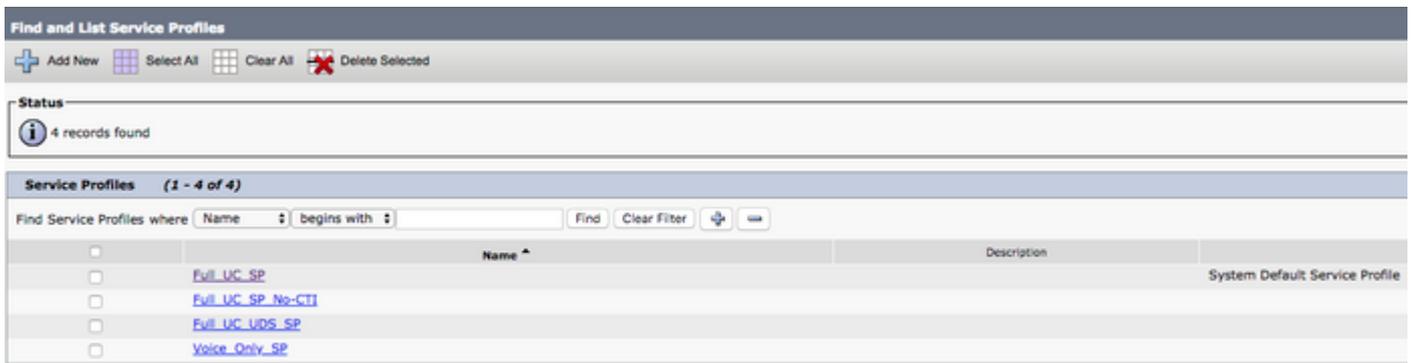
UC Service Type:	Voicemail
Product Type*	Unity Connection
Name*	CUXN-Sub-01
Description	Unity Connection Subscriber 1
Host Name/IP Address*	CUXN-SUB-01.testlab.com
Port	443
Protocol	HTTPS

注：1つのUCSサービスプロファイルに最大3つのVoicemailUCSサービスを割り当てることができます。

ボイスメールUCサービスが定義されたら、サービスプロファイルに割り当てます。まず、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Macユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[Service Profile Configuration] ページで、[Voicemail Profile]セクションまで下にスクロールして、[Voicemail UCService(s)]をサービスプロファイルに割り当てて、[Save]を選択します。



注：上記のJabber for Macの設定では、Unity ConnectionがLDAP認証を使用していることを前提としています。メールボックスがLDAPに統合されていない場合は、『Cisco On-Premises Deployment Guide』を参照してください。

ディレクトリの設定

Jabber for Macは、企業の連絡先を解決するためのディレクトリサービスに依存します。Jabberは、Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)またはCUCMユーザデータサービス(UDS)を使用してディレクトリ解決を実行できます。Jabber for MacのLDAPまたはUDSディレクトリサービスの設定に関しては、次のセクションを参照してください。

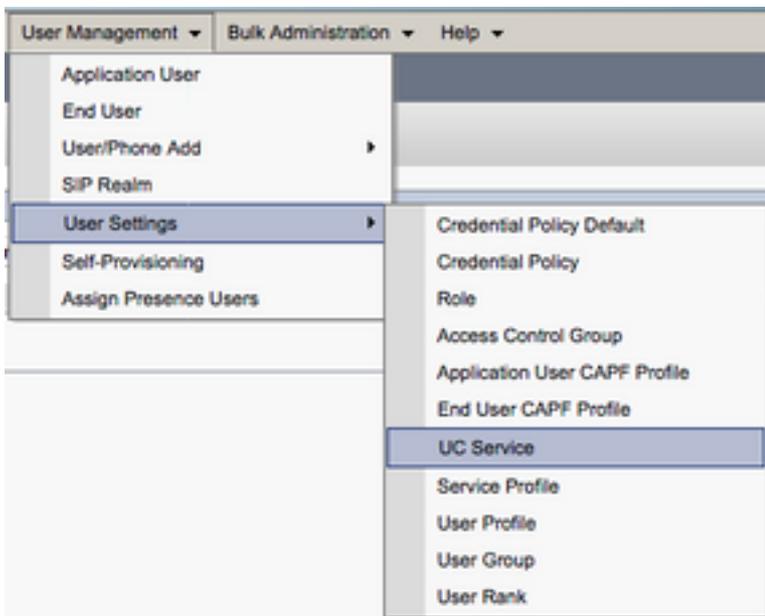
LDAPディレクトリサービス

Jabber for Macは、次に示すように、3つの既知のLDAPディレクトリサービスをサポートしています。

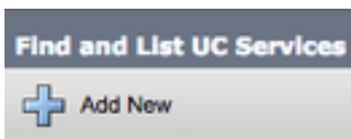
- Active Directoryドメインサービス
- OpenLDAP
- Active Directoryライトウェイトディレクトリサービス(AD LDS)

このガイドでは、Jabber for Mac 11.8以降をActive Directoryドメインサービスと統合するように設定する手順について説明します。これは最も一般的な統合です。

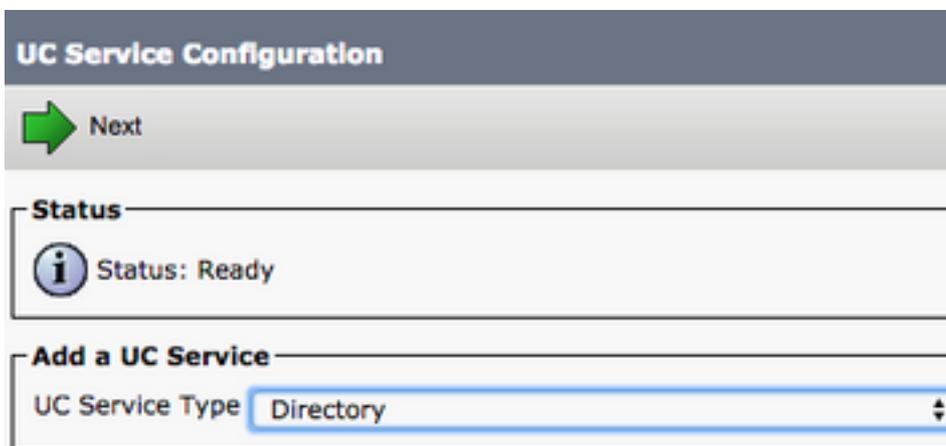
まず、CUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [User Settings] > [UC Service]に移動します。



[UCサービスの検索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[新規追加(Add New)]を選択します。



[UC Service Configuration]ページが表示されたら、[UC Service Type]ドロップダウンから[Directory]を選択し、[Next]を選択します。



UCサービス構成ページが表示されます。[製品タイプ]ドロップダウンから[拡張ディレクトリ]を選択します。また、ディレクトリUCServiceの名前を設定し、ディレクトリサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定する必要があります。

既定では、[接続の種類]は[グローバルカタログ]に設定されます。この場合、Microsoftドメインコントローラがディレクトリソースとして使用されていると仮定します。グローバルカタログサーバが使用中の場合は、構成内のポート番号を3268に設定する必要があります。シスコでは、クエリをより効率的に解決するため、グローバルカタログサーバをディレクトリリソースとして使用することを推奨しています。

ヒント : Microsoft Active Directoryドメインサービスのドメインコントローラを使用していない場合は、ディレクトリUCサービスの[Port]を[389 to Connection Type]を[Ldap]に設定する必要があります。

UC Service Information

UC Service Type: Directory

Product Type* Enhanced Directory

Name* MS_AD_01

Description Microsoft Domain Controller

Host Name/IP Address* MS-AD-01.testlab.com

Port 3268

Protocol TCP

Connection Type* Global Catalog

Use Secure Connection

Use Wildcards

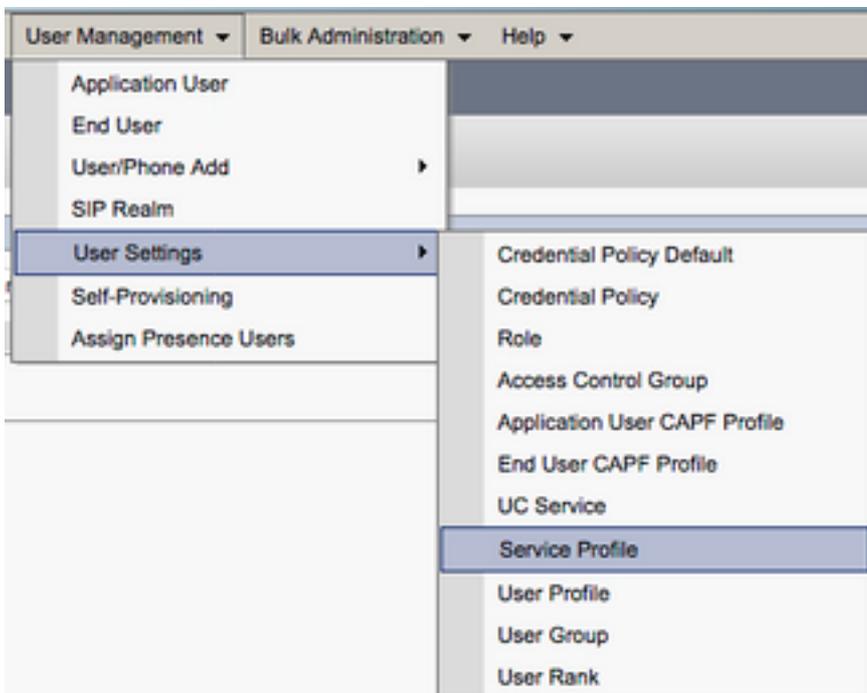
Disable Secondary Number Lookups

Uri Prefix

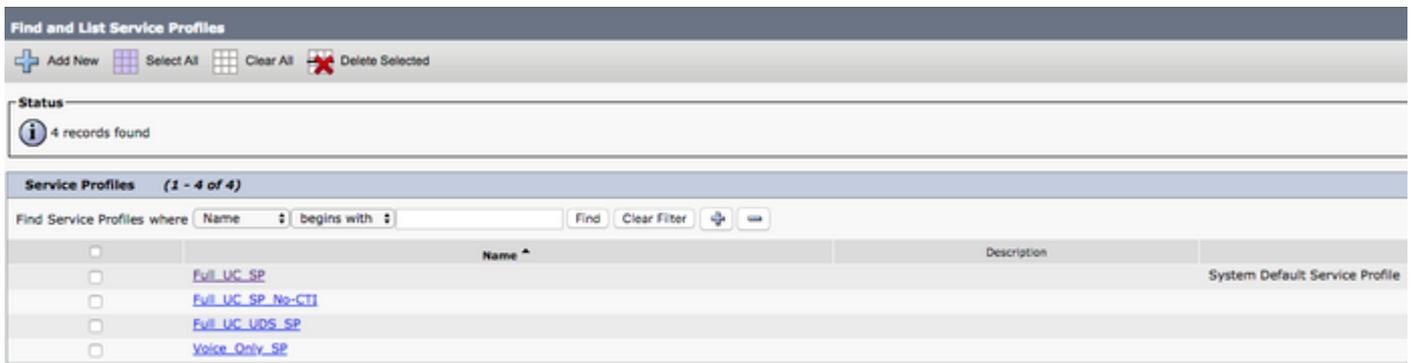
Phone Number Masks

注：1つのUCSサービスプロファイルに最大3つのDirectoryUCSサービスを割り当てることができます。

ディレクトリUCサービスが定義されたら、それらをサービスプロファイルに割り当てます。まず、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Macユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[サービスプロファイルの設定(Service Profile Configuration)]ページで、[ディレクトリプロファイル(Directory Profile)]セクションまで下にスクロールし、サービスプロファイルにディレクトリUCServiceを割り当てます。また、Active Directoryの検索ベースを定義する必要があります。これは、企業ユーザが存在する組織単位またはディレクトリである必要があります。

[ディレクトリプロファイル]セクションを構成する際には、ディレクトリ認証方法も構成する必要があります。匿名クエリを防ぎ、Jabberログイン時に入力した資格情報でJabberを認証するように設定します。はディレクトリサーバへの匿名アクセスを試みます。匿名ディレクトリへのアクセスは、シスコでは推奨しません。

ディレクトリ・プロファイルの構成が完了したら、「保存」を選択します。

注：CUCM 10.X - 11.5.Xを使用している場合、サービスプロファイルの[Directory Profile]セクションには、LDAPサーバでクエリを実行する権限のあるユーザIDとして識別名を使用できるユーザ名およびパスワードフィールドも含まれます。CUCM 12.Xで、ディレクトリサービスの認証に単一のユーザIDを使用する場合は、jabber-config.xmlのConnectionUsernameおよびConnectionPasswordパラメータを使用する必要があります。

Directory Profile

Primary

Secondary

Tertiary

Use UDS for Contact Resolution

Use Logged On User Credential

Search Base 1

Search Base 2

Search Base 3

Recursive Search on All Search Bases

Search Timeout (seconds)*

Base Filter (Only used for Advance Directory)

Predictive Search Filter (Only used for Advance Directory)

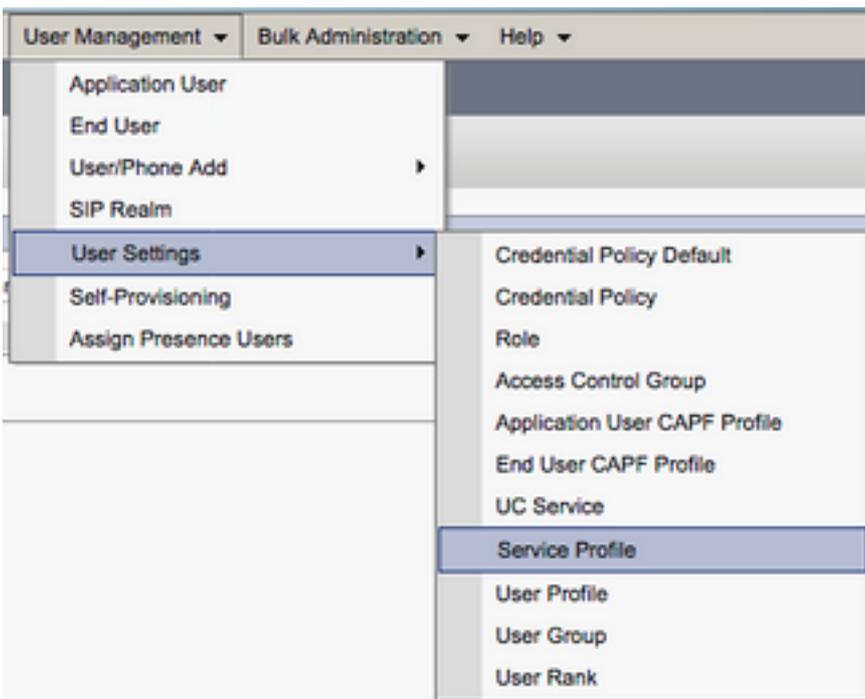
Allow Jabber to Search and Add Security Groups

注意: Cisco Jabberはさまざまな属性を使用して連絡先ソースに照会します。これらの属性のすべてがデフォルトでインデックス付けされているわけではありません。Cisco Jabberで使用される属性を効率的に検索するには、ディレクトリサーバでインデックスを作成する必要があります。詳細については、『Jabber計画ガイド』の「LDAPの前提条件」セクションを参照してください。

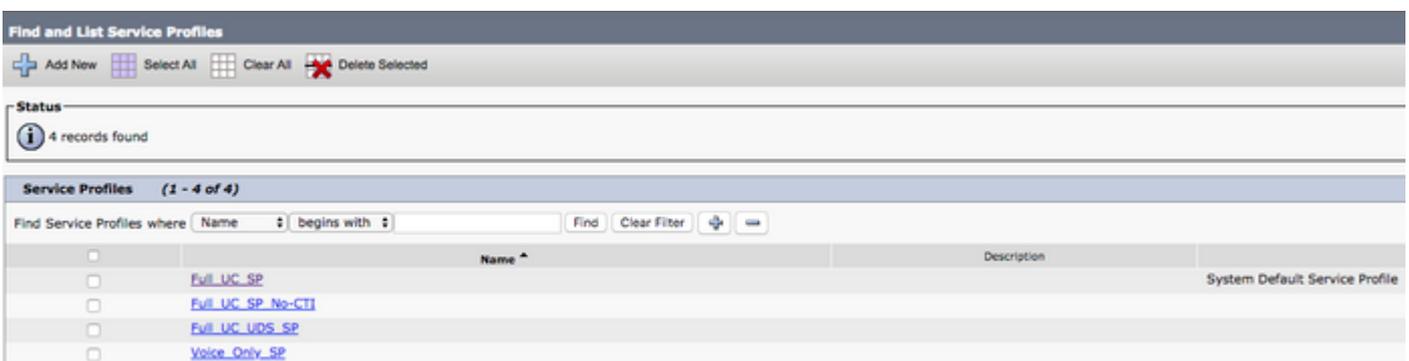
UDSディレクトリサービス

CUCM User Data Services(UDS)は、Cisco Expresswayモバイルおよびリモートアクセスを介して連絡先を解決するためにJabberで使用できる連絡先ソースAPIを提供します。UDS連絡先ソースは、Unified CMエンドユーザテーブル情報を使用して解決します。

まず、CUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Macユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[サービスプロファイルの設定]ページで、ディレクトリ[プロファイル]セクションで、[連絡先の解決にUDSを使用]チェックボックスをオンにし、[保存]を選択します。

Directory Profile

Primary <None> ▾
 Secondary <None> ▾
 Tertiary <None> ▾

Use UDS for Contact Resolution
 Use Logged On User Credential

Search Base 1
 Search Base 2
 Search Base 3

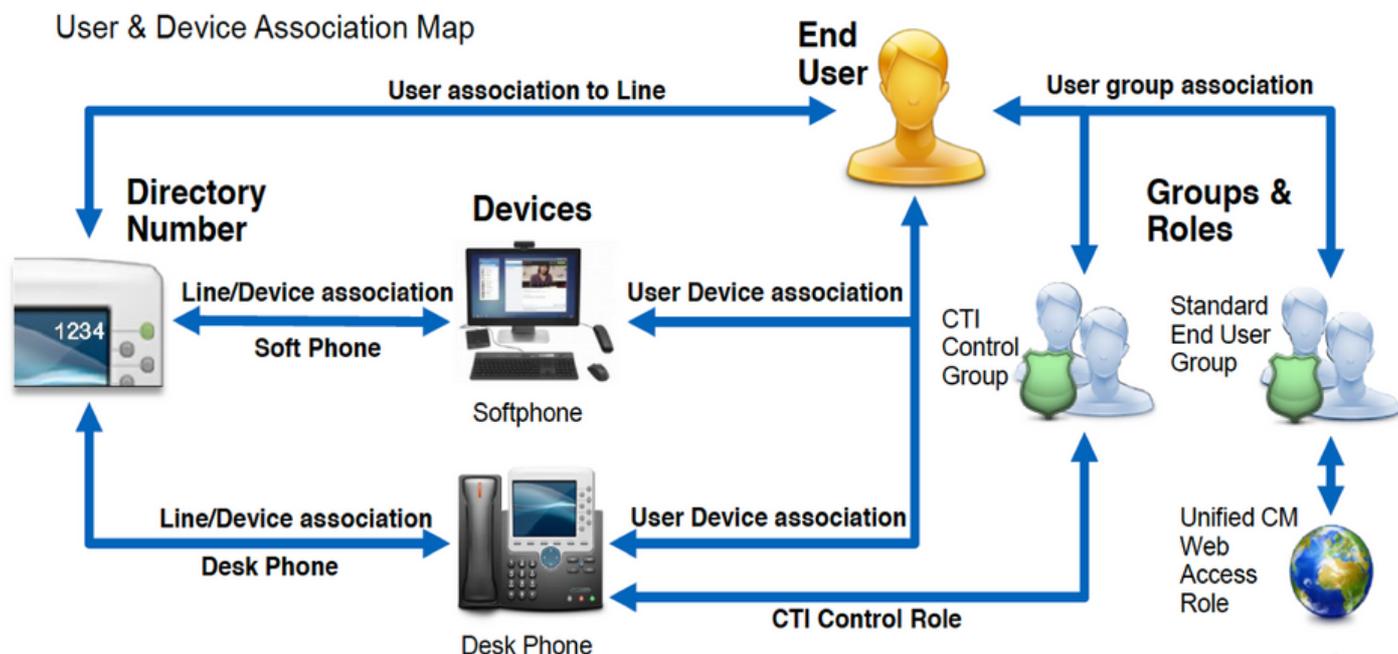
Recursive Search on All Search Bases
 Search Timeout (seconds)*
 Base Filter (Only used for Advance Directory)
 Predictive Search Filter (Only used for Advance Directory)

Allow Jabber to Search and Add Security Groups

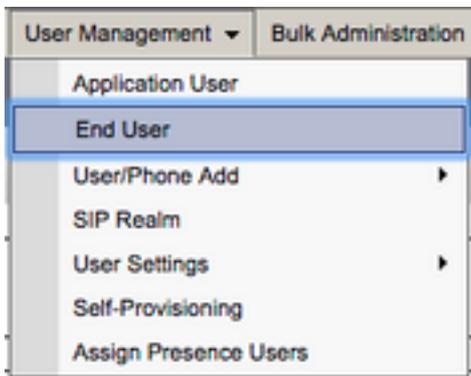
サービスプロファイルでUDSが有効になると、Jabber for MacはJabberのログインプロセス中にCUCM UDSサーバを自動的に検出します。

CUCMエンドユーザの設定

Jabber for Macの導入には、CUCMエンドユーザの設定が重要です。多くのJabber機能はこの設定に依存しています。次の図は、CUCMエンドユーザの設定に依存するすべてのJabber設定を示しています。



Jabber for Mac CUCMエンドユーザを設定するには、まずCUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [End User]に移動します。



[ユーザの検索と一覧表示(Find and List Users)]メニューで、Jabber for Macに設定するCUCMエンドユーザを検索して選択します。

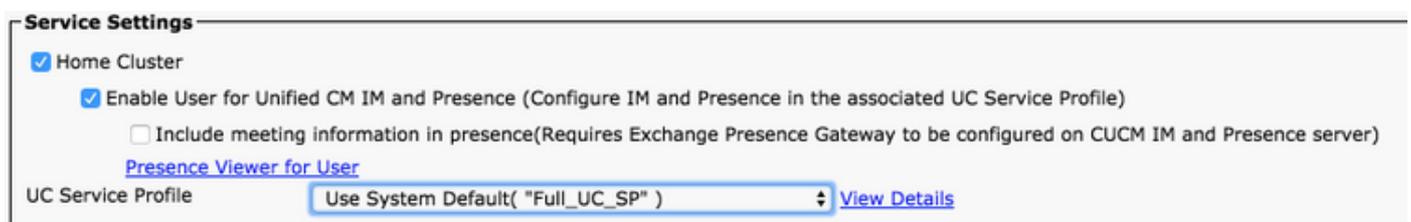


[エンドユーザーの設定Web]ページで[サービスの設定]セクションまで下にスクロールして、使用するサービスをエンドユーザに割り当てることができます。ユーザがJabber for Macにログインできるようにするには、サービス名の横にあるチェックボックスをオンにしてホームクラスターサービスを有効にする必要があります。

Jabber for Macをインスタントメッセージングに使用するエンドユーザは、[Unified IM and Presenceのユーザを有効にする(Enable User for Unified IM and Presence)]というフィールドの横にあるチェックボックスをオンにして、サービスを有効にする必要があります。

次に、[UC Service Profile]ドロップダウンからサービスプロファイルを選択して、サービスプロファイルを割り当てます。サービスプロファイルは、JabberクライアントにCUCM UCサービス設定を提供するために使用されます。

注：サービスプロファイルをCUCMエンドユーザに割り当てない場合、ユーザはシステムのデフォルトサービスプロファイルとして設定されたサービスプロファイルを自動的に使用します。



次に、[Device Information]セクションまで下にスクロールします。ここでは、CUCMエンドユーザが制御するデバイスを管理できます。ユーザにソフトフォンまたはデスクフォンデバイスを割り当てます。CUCMは、Jabberログイン中にJabber for Macにこのデバイスのリストを提供します。

Device Information

Controlled Devices

CSFTUSER
SEP

Device Association
Line Appearance Association for Presence

[デバイスの関連付け]ボタンを選択すると、デバイスをユーザに割り当てることができます。次に、[ユーザデバイスの関連付け(User Device Association)]メニューが表示されます。ここから、CUCMエンドユーザデバイスを検索できます。デバイスが見つかったら、そのデバイスの横にあるチェックボックスにチェックマークを付け、[選択した変更を保存]を選択します。

User Device Association

Select All Clear All Select All In Search Clear All In Search Save Selected/Changes

User Device Association For tuser (1 - 1 of 1)

Find User Device Association where (Name) contains tuser Find Clear Filter

Show the devices already associated with tuser

	Device Name	Directory Number
<input checked="" type="checkbox"/>	CSFTUSER	8675309

Select All Clear All Select All In Search Clear All In Search Save Selected/Changes

次に、[Directory Number Association]セクションまで下にスクロールし、[Primary Extension]ドロップダウンから[CUCM end users primary extension]を選択します。

Directory Number Associations

Primary Extension 8675309 in RTP_Internal_PT

Directory Number Associations

Primary Extension 8675309 in RTP_Internal_PT

次に、[権限情報]セクションまでスクロールします。ここでは、Jabber for Macに必要な権限を割り当てます。

次の表(表1.1)に、必要なすべてのロール、その権限、およびJabberにロールの割り当てが必要な理由を示します。

表 1.1

ロール	特権/リソース	
標準CCMエンドユーザ	Cisco Unified CMユーザオプションにエンドユーザのログイン権限を付与します。	Ja
標準CCMUSER管理	Cisco Unified CMユーザオプションへのアクセスを許可します。	Ja
Standard CTI Allow Control of Phones Supporting Rollover Mode	ロールオーバーモードをサポートするすべてのCTIデバイスを制御できます。	Ci
Standard CTI Allow Control of Phones Supporting Connected Xfer and Conf	接続された転送および会議をサポートするすべてのCTIデバイスの制御が可能	Ci リ
Standard CTI Enabled	CTIアプリケーション制御を有効にします。	他

CUCMエンドユーザに権限グループを割り当てるには、[アクセスコントロールグループ]に追加

(Add to Access Control Group)ボタンを選択します。

Permissions Information

Groups

- Standard CCM End Users
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and Conf
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode
- Standard CTI Enabled

[View Details](#)

Roles

- Standard CCM End Users
- Standard CCMUSER Administration
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and Conf
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode
- Standard CTI Enabled

[View Details](#)

Add to Access Control Group

Remove from Access Control Group

次に、追加するアクセスコントロールグループを検索し、アクセスコントロールグループ名の近くにあるチェックボックスをオンにします。完了したら、[Add Selected]ボタンを選択します。

Find and List Access Control Groups

Select All Clear All Add Selected Close

Status

10 records found

Access Control Group (1 - 10 of 10)

Find Access Control Group where Name contains standard cti

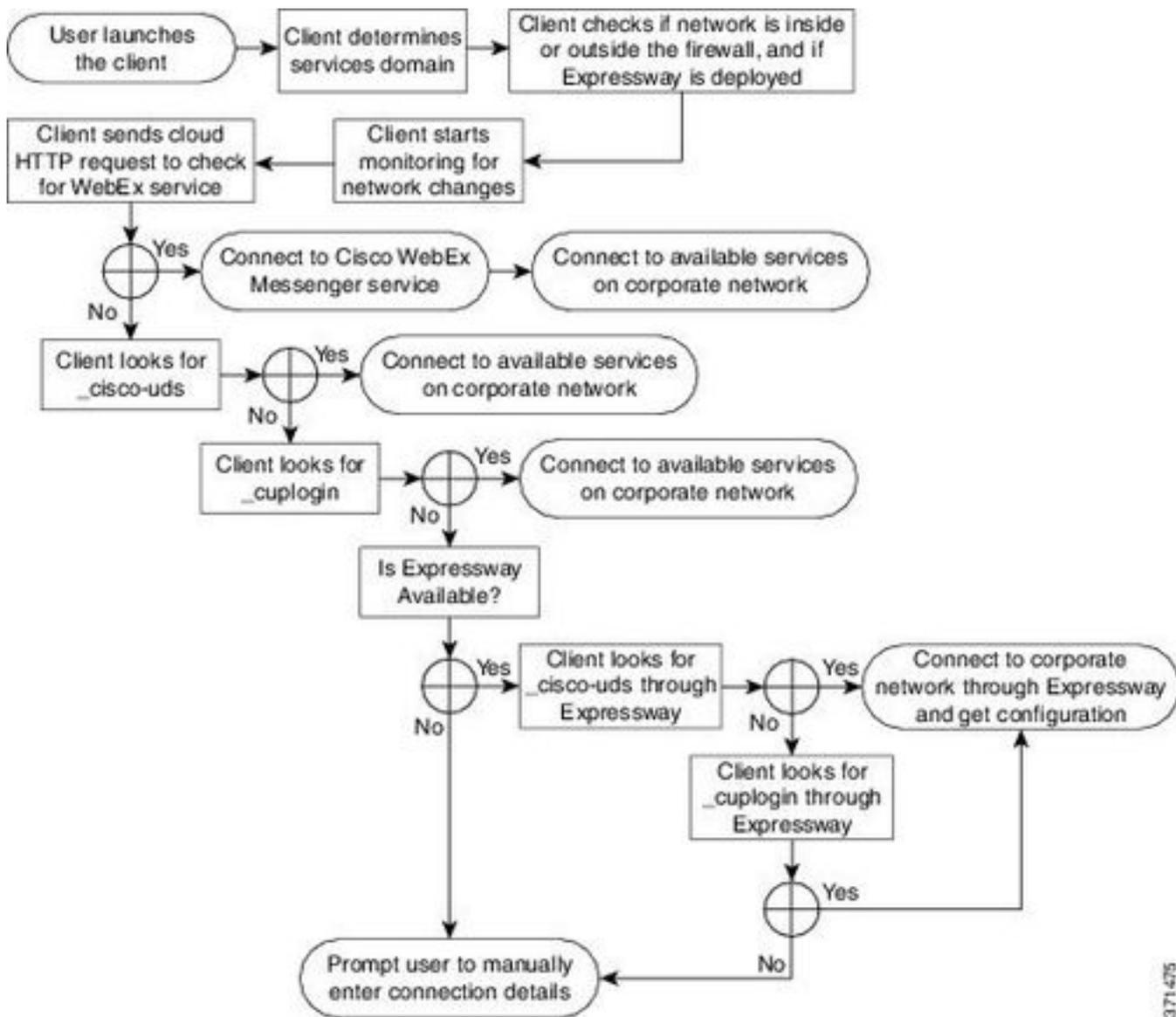
Name begins with Find

<input type="checkbox"/>	Name ^
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Call Monitoring
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Call Park Monitoring
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Call Recording
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Calling Number Modification
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Control of All Devices
<input checked="" type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and Conf
<input checked="" type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Allow Reception of SRTP Key Material
<input checked="" type="checkbox"/>	Standard CTI Enabled
<input type="checkbox"/>	Standard CTI Secure Connection

サービスディスカバリ

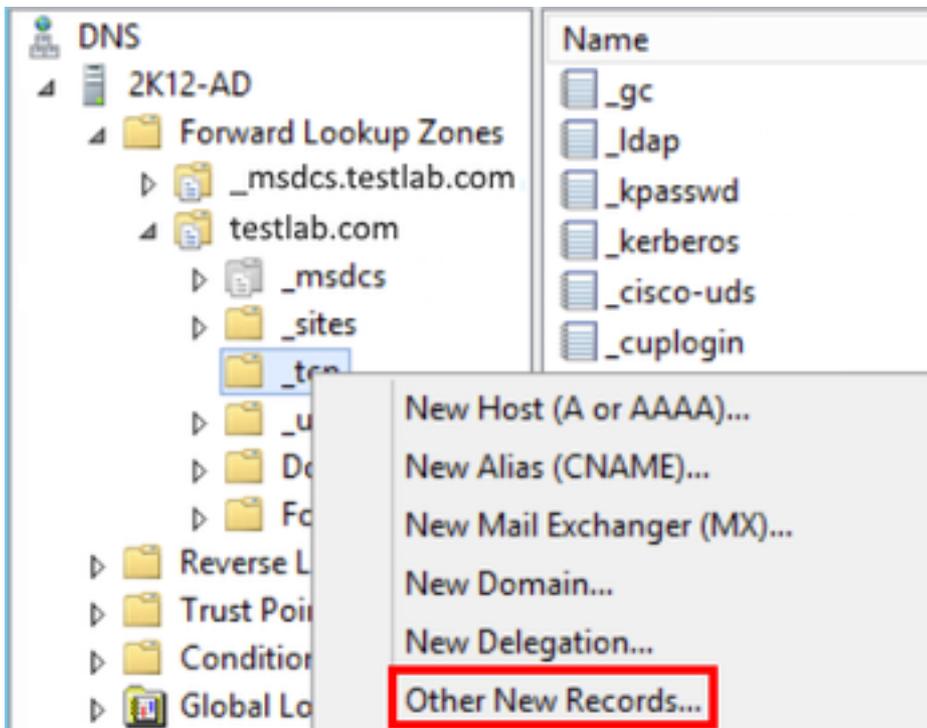
Cisco Jabberクライアントがログインできるようにするには、まず、認証と設定の取得に使用するサービス (CUCM、IM&P、またはExpressway) を認識する必要があります。Domain Name System (DNS ; ドメインネームシステム) サービスロケーション(SRV)レコードを使用して自動サービス検出を設定することを推奨します。これは、シームレスなユーザエクスペリエンスと管理の容易さを提供するためです。

次の図は、Jabberの自動サービス検出プロセスを図示したものです。

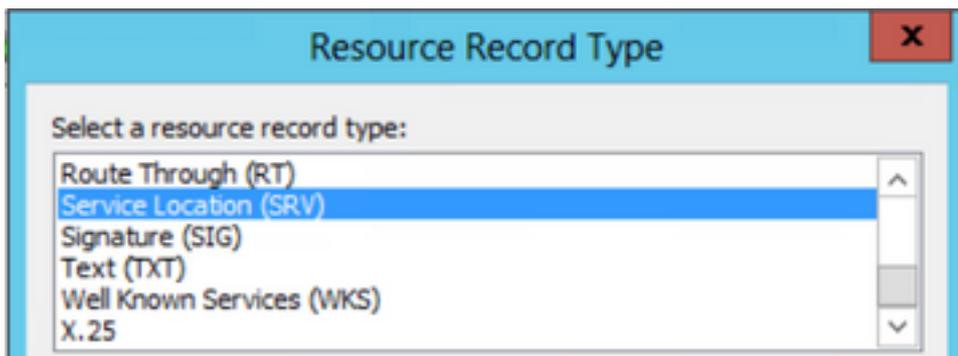


371-475

DNS SRVレコードをMicrosoft DNS Managerに追加するには、ドメインに移動してツリーを展開します。_tcpフォルダを右クリックし、[その他の新しいレコード...]を選択します。



[リソースレコードの種類]ウィンドウが表示されたら、[サービスの場所(SRV)]をハイライトし、[レコードの作成...]を選択します。



次に、[新しいリソースレコード]ペインが表示されます。ここでは、Jabbersの初期UDSホームクラスタルックアップに使用する各CUCMサーバのSRVレコードを設定します。

_cisco-udsSRVレコードの設定例を次に示します。この例では、_cisco-udsレコードはCUCMクラスタ内の3つのCUCMノードに解決されます。

```

_cisco-uds._tcp.testlab.com      SRV service location:
    priority      = 6
    weight       = 30
    port         = 8443
    svr hostname  = cucm3.testlab.com
_cisco-uds._tcp.testlab.com      SRV service location:
    priority      = 2
    weight       = 20
    port         = 8443
    svr hostname  = cucm2.testlab.com
_cisco-uds._tcp.testlab.com      SRV service location:
    priority      = 1
    weight       = 5
    port         = 8443
    svr hostname  = cucm1.testlab.com

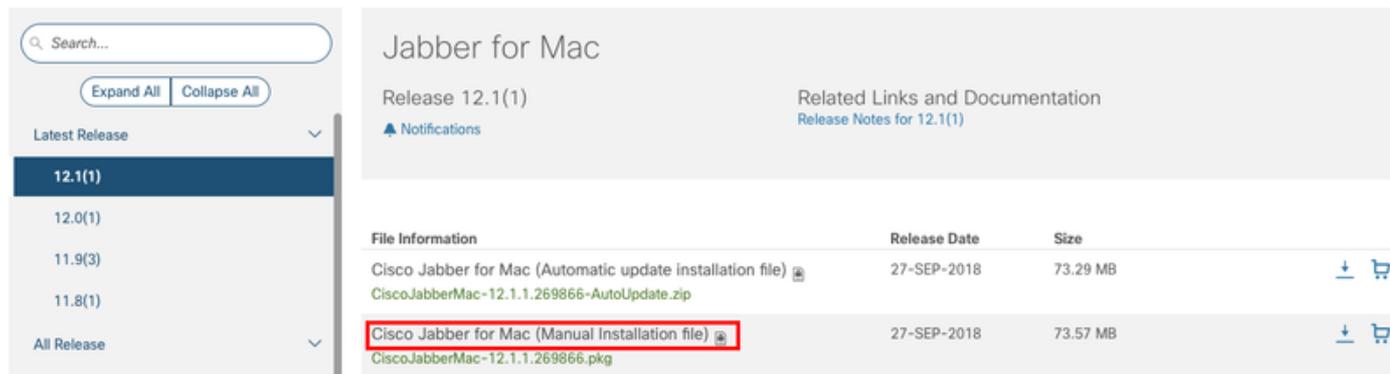
```

Jabberのダウンロード

まず、Webブラウザを開き、<https://software.cisco.com/download/home>に移動します。ダウンロードホームページでJabber for Macを検索するだけで、ダウンロードオプションが表示されたら、次のようにCisco Jabber for Macのインストールダウンロードを選択してください。

Software Download

Downloads Home / Collaboration Endpoints / Software Clients / Jabber for Mac / Jabber Software- 12.1(1)



Search...

Expand All Collapse All

Latest Release

- 12.1(1)
- 12.0(1)
- 11.9(3)
- 11.8(1)
- All Release

Jabber for Mac

Release 12.1(1)

Notifications

Related Links and Documentation
[Release Notes for 12.1\(1\)](#)

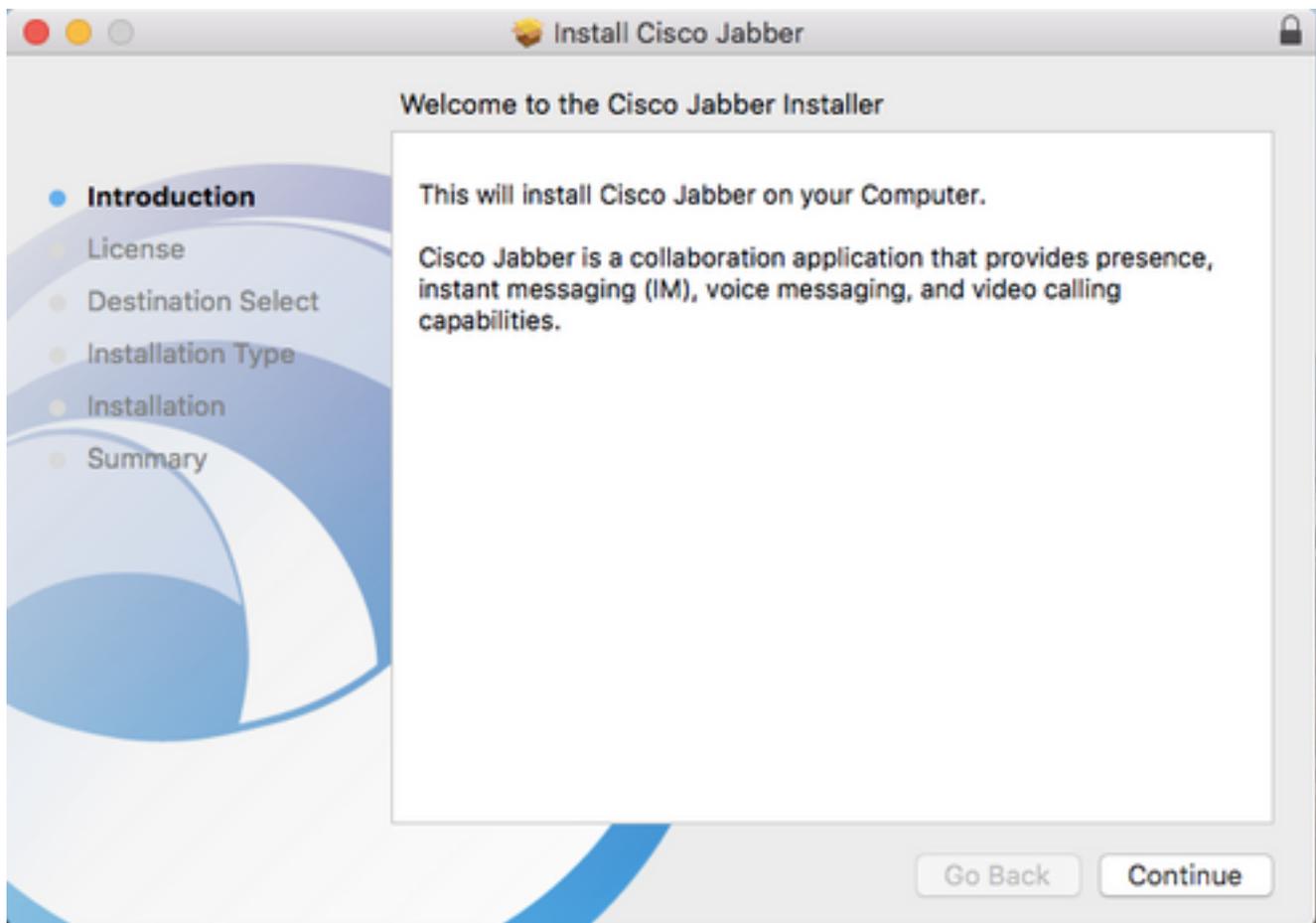
File Information	Release Date	Size	
Cisco Jabber for Mac (Automatic update installation file) 	27-SEP-2018	73.29 MB	 
CiscoJabberMac-12.1.1.269866-AutoUpdate.zip			
Cisco Jabber for Mac (Manual Installation file) 	27-SEP-2018	73.57 MB	 
CiscoJabberMac-12.1.1.269866.pkg			

Jabberのインストール

まず、以前にダウンロードしたCisco Jabber for Macインストーラを特定し、CiscoJabberMac pkgファイルを選択します。



[Introduction]画面が表示されれば、[Continue]ボタンを選択して、インストールを続行します。

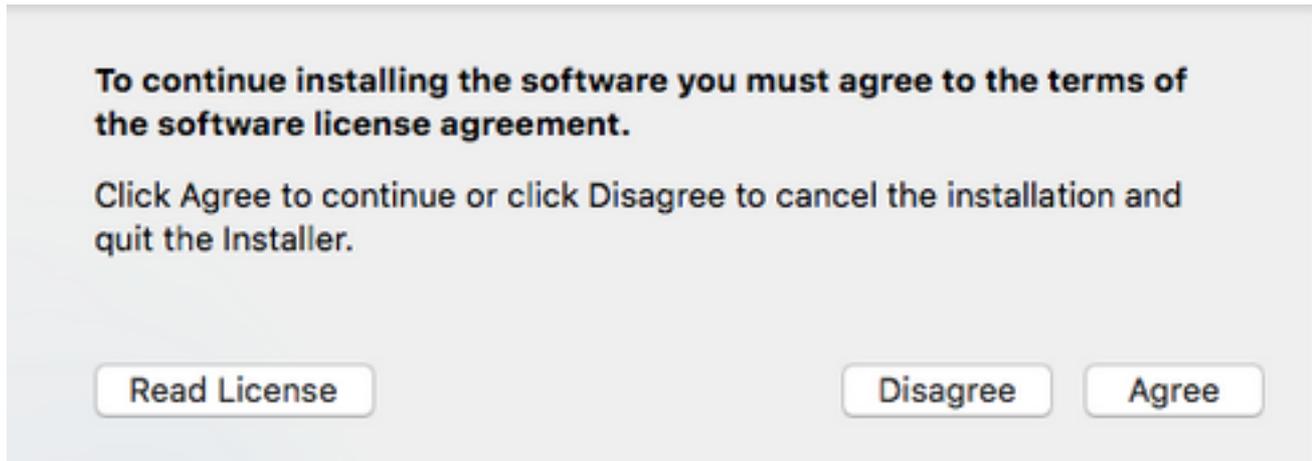


次に、通知と免責条項を読みます。インストールを続行する場合は、[続行]を選択します。



その後、ポップアップが表示され、前の手順で確認したエンドユーザライセンス契約に同意する

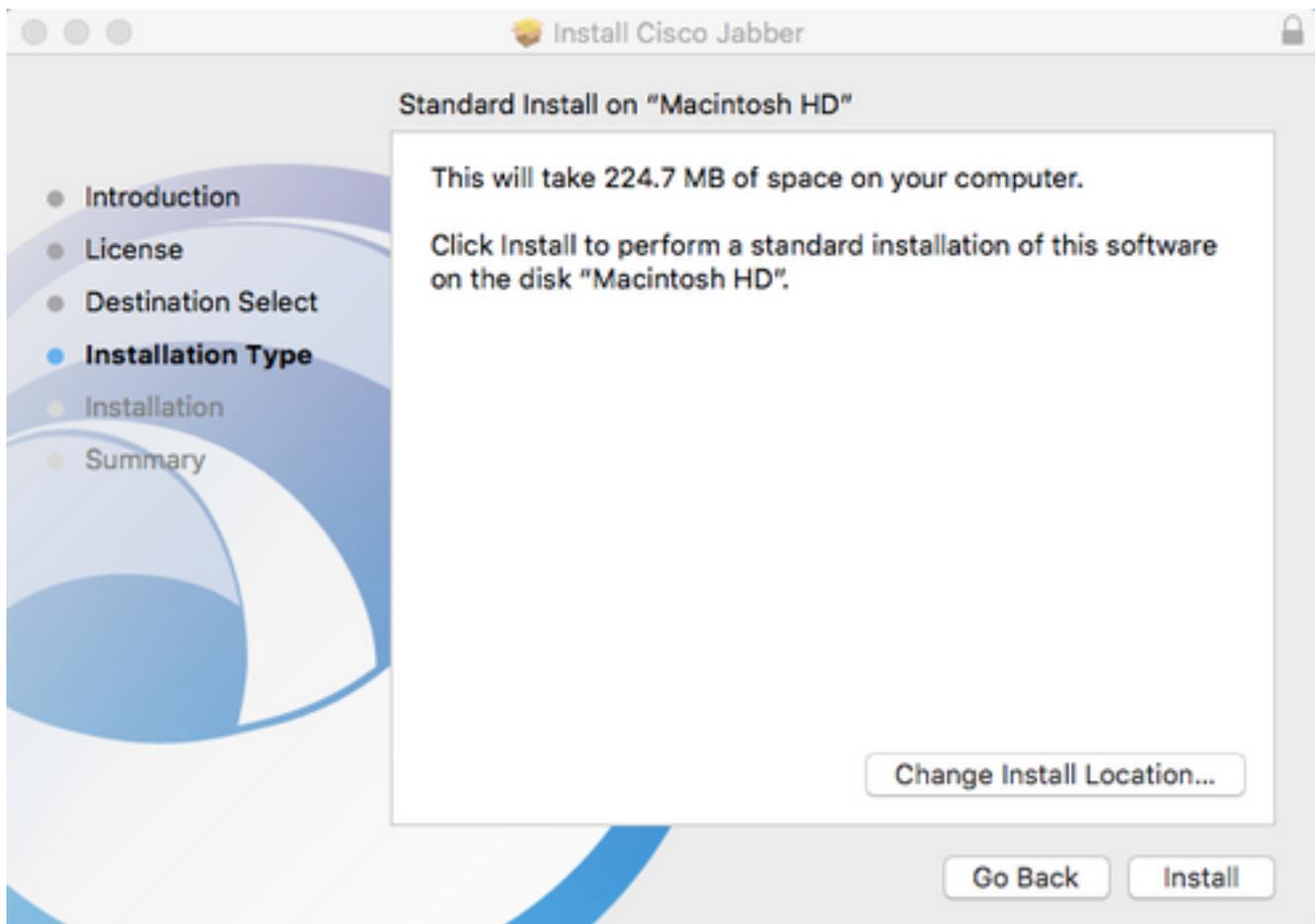
かどうかを確認するメッセージが表示されます。インストールを続行する場合は、[同意する]を選択してください。



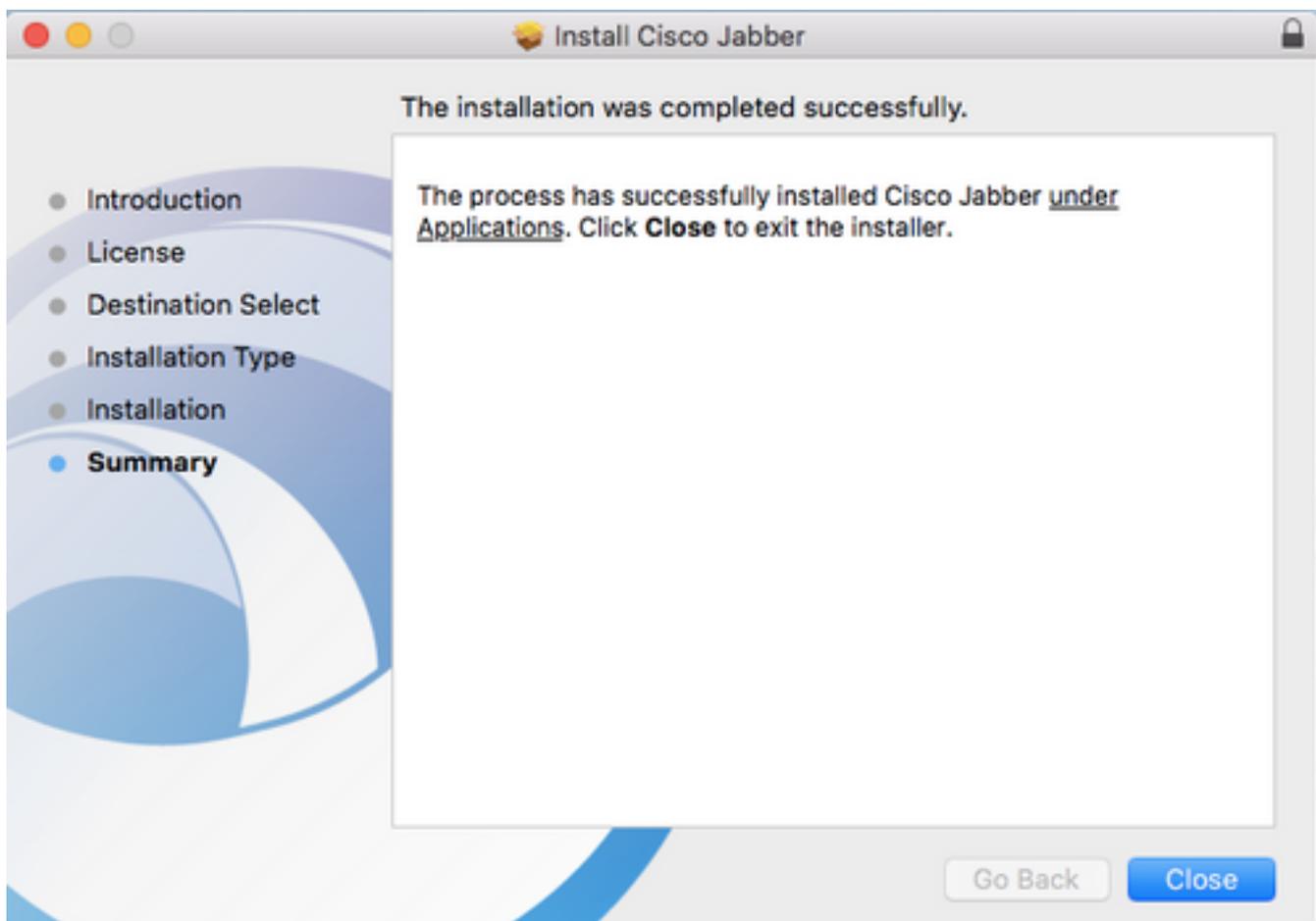
[Destination Select]画面が表示されれば、Jabberをインストールするディスクを選択し、[Continue]を選択します。



次に、インストール先を選択するか、「インストール」を選択してデフォルトの場所を受け入れます。



インストールが完了すると、[概要]画面が表示されます。インストールウィザードが終了したら、[閉じる]を選択します。

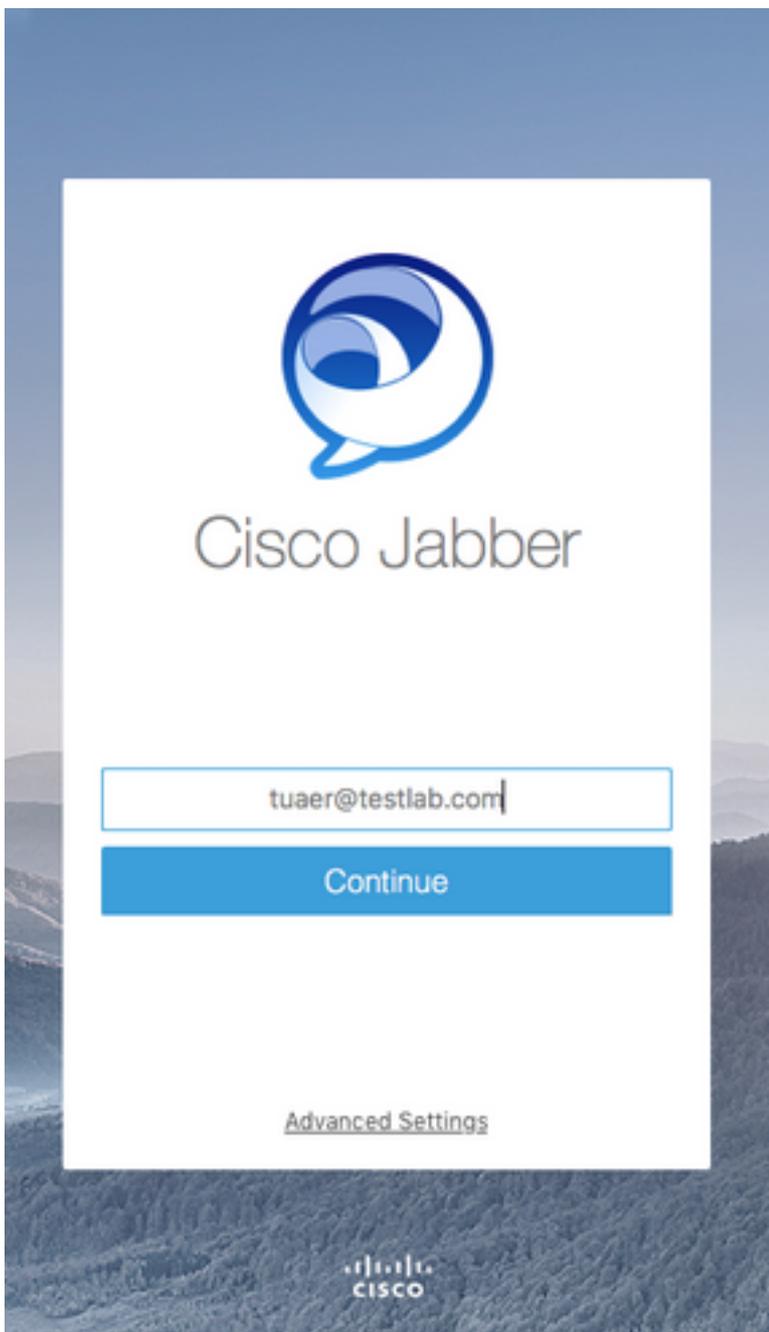


Jabberへのログイン

Jabber for Macでログインするには、まずMac Launchpadに移動し、利用可能なアプリケーションのリストから[Cisco Jabber]を選択します。



Jabberアプリケーションが起動すると、サービス検出に使用されるJabberユーザ名とドメインが表示されます(例：tuser@testlab.com)を選択し、[続行]を選択します。



サービスの検出が終了すると、Jabberログのクレデンシャルを入力するように求められます。有効なJabberユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン]を選択します。



Cisco Jabber

Enter your username and password for Phone Services and Instant Messaging.

